

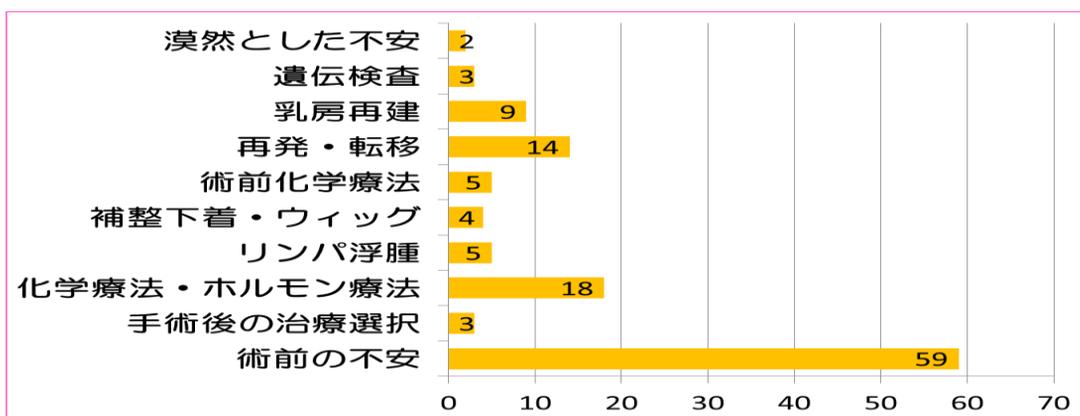
## 1人で悩まず、相談してみましょ！ ～乳がん看護外来のご紹介～



乳がん高度検診・治療センターでは看護師によるユニークな試みがいくつかなされています。そのひとつに乳がん看護認定看護師による「乳がん看護外来」があります。

乳がんは他のがんに比べて一般に若い年齢層に多く、40歳代、50歳代がその多くを占めます。40歳代、50歳代というと家庭内でも、社会においても何かと責任の重い年代であるだけに、身体的負担に加えて何かと心理的負担も少なくありません。一方、若年者である30歳代の患者さんでは今後の妊娠・出産などの問題がつきまといます。また、乳がん治療の選択肢の多様化や治療期間の長期化に伴い、患者さんの悩みも多種多様です。しかし、「外来診療の場で担当医とゆっくり時間をかけて相談するのが難しい」「入院中は手術のことで頭がいっぱいで今後のことを考える余裕もなく退院になった」「こんな些細なことでいちいち相談してもいいのかな」などの声がきかれることが少なくありませんでした。そのようなニーズにお応えすべく2012年12月より当センターに「乳がん看護外来」が開設されました。

対象は、当院かかりつけの乳がん患者さん、またはそのご家族に限定していますが、おおよそ月15名ほどの患者さんが利用されています。乳がんと告知され、これから治療に入るという方、現在治療中の方、治療がすべて終了したが再発の不安が強い方、など相談内容や年齢もまちまちです。今までの対応内容は図の通りです。



担当医から看護外来受診をお勧めすることもあります。それ以外でもサポートを希望される方はご遠慮なくお申し出ください。

詳細は乳がん高度検診・治療センターにお問い合わせください。

